

暇の有無、時間数にあまり関係がない。④30・40台と50台との間に余暇時間の差がみられる。⑤学歴別では、小学校・高等小学校卒が、他の学歴に比べて余暇時間が少なくなっている。⑥余暇時間のない主婦は1～3時間の余暇時間を要求している。余暇の少ない理由として職を持っている、保育があることをあげている。

(B)①余暇については、「労働から解放された、自由な時間」と意識している者が大半を占めている。②都市、農村間、家族人数の多少、学歴別による主婦の余暇意識の差はみられない。③年令の若い層及び職のない主婦は、余暇とは「教養を身につけたり趣味を生かすための時間」という考え方が多い。

## F-25 主婦の余暇意識と実態について

福岡県立豊津高 ○有賀 明子  
福岡教育大 秋山 晴子

1. (A)主婦の余暇の実態、(B)余暇に対する意識、の二点を地域別、職業別、家族数、年代などによってどのように違うかを、福岡県下の主婦について調査を行い検討した。

2. 調査対象は、福岡県の四つの地域の女子高校生を子に持つ母親で総計 1153 名。回収率は 85.0%。この調査は質問紙法で3日間留置き回収した。

3. (A)①主婦の 72.9% が努力しないで、2～3 時間の余暇をもつことが出来ると答えている。②都市の主婦の方が農村より余暇時間が多い。③家族数の多少は、余